

第3章 地域の概況及び地域特性

3.1 調査対象地域等の設定

対象事業実施区域及びその周辺地域における環境情報を収集し、当該地域の地域特性の把握に努めました。

環境情報の収集は、図 3.1-1 に示すとおり、対象事業実施区域を中心とした区域（以下「調査区域」といいます。）を対象として行うことを基本としました。統計データ等の情報収集に関しては、神奈川区、西区の合計 2 区（以下「調査対象地域」といいます。）を対象としました。



3.2 地域の概況

3.2.1 気象の状況

横浜地方気象台(横浜市中区山手町 99 番地)における平成 27 年の気象状況は、表 3.2-1 に示すとおりです。

年間の平均気温は 16.7℃、平均風速 3.4m/s、最多風向は北、降水総量 1,836.0mm となっています。

表 3.2-1 気象の状況（平成 27 年）

項目	年間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均気温(℃)	16.7	6.2	6.4	10.5	14.6	20.8	21.9	26.0	26.8	22.9	18.9	14.7	10.1
最高気温(℃)	20.5	10.4	10.5	15.0	18.8	25.4	25.8	29.7	30.2	26.2	22.6	17.9	13.7
最低気温(℃)	13.6	2.7	3.3	6.9	11.1	17.3	19.1	23.4	24.4	20.5	15.9	11.9	7.1
相対湿度(%)	70	55	60	61	74	68	78	81	79	79	67	74	60
雲量(10分比)	6.9	4.5	5.6	6.0	8.1	7.0	8.9	7.7	7.4	8.5	6.1	7.1	5.9
平均風速(m/s)	3.4	3.7	3.5	3.9	3.7	3.6	2.8	3.6	3.3	3.2	3.3	3.2	3.5
最多風向	北	北	北	北	北	南西	南	南西	北	北	北	北	北
日照時間(h)	2076.1	188.9	167.3	184.9	152.5	249.9	143.1	204.8	176.8	125.4	192.0	122.9	167.6
日照率(%)	47	61	55	50	39	58	33	46	42	34	55	40	55
降水総量(mm)	1836.0	106.5	53.0	113.0	121.0	69.5	145.5	325.5	118.0	483.0	54.0	137.0	110.0

資料：「第96回横浜市統計書」（横浜市政策局ホームページ、平成28年4月閲覧）

3.2.2 地形、地質、地盤の状況

1) 地形

調査区域の地形の状況は、図 3.2-1 に示すとおりです。対象事業実施区域は横浜港に面する旧水面上の埋立地である人工地形に位置します。

横浜港沿岸部の埋立の変遷は、図 3.2-2 に示すとおりです。対象事業実施区域は 1882～1906 年の間に増加した埋立地域に位置します。

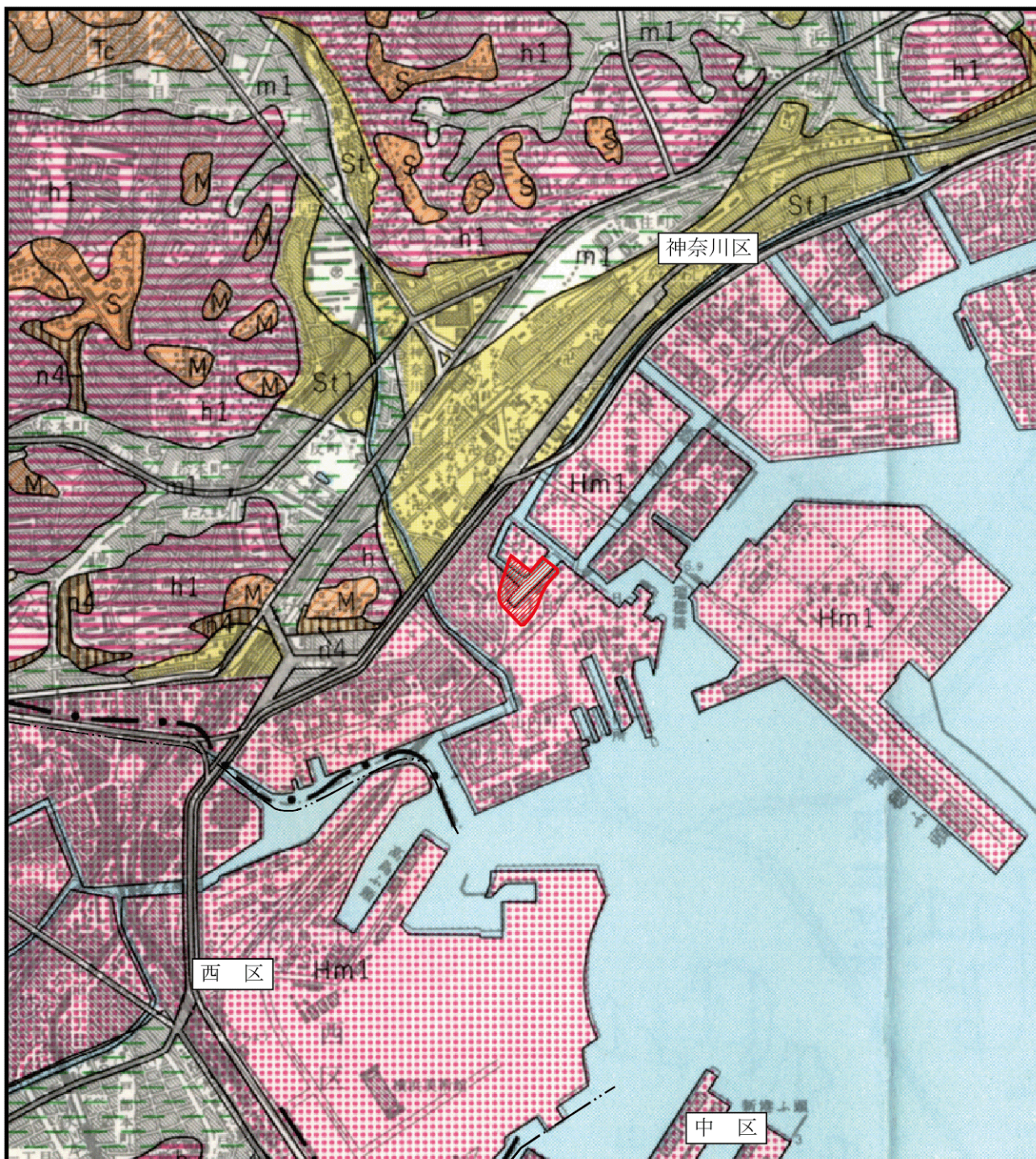
2) 地質

調査区域の地質の状況は、図 3.2-3 に示すとおりです。対象事業実施区域及びその周辺は埋土で形成されており、対象事業実施区域の北西側は自然堤防及び砂州堆積物¹³となっています。

3) 地盤

調査区域の軟弱地盤の状況は、図 3.2-4 に示すとおりです。対象事業実施区域の位置する軟弱地盤の層厚は 0～5m です。

¹³ 自然堤防及び砂州堆積物：自然堤防とは、河川の兩岸に上流から運搬されてきた土砂などが堆積してできた微高地のことをいい、砂質・砂礫質の土質から成ります。また、砂州（さす）堆積物は、流水によって形成される砂の堆積構造・堆積物を指します。



凡 例

-  : 対象事業実施区域
 - - - : 区 界

図 3.2-1 地形分類図

		傾斜区分			
		0°~3°	3°~8°	8°~15°	15°~30°
一般山地	山麓緩斜面		f2	f3	
	一般斜面				n4
段丘地形	下末吉段丘面群	S	S		
	武蔵野段丘面群	M	M		
	立川段丘面群		Tc		

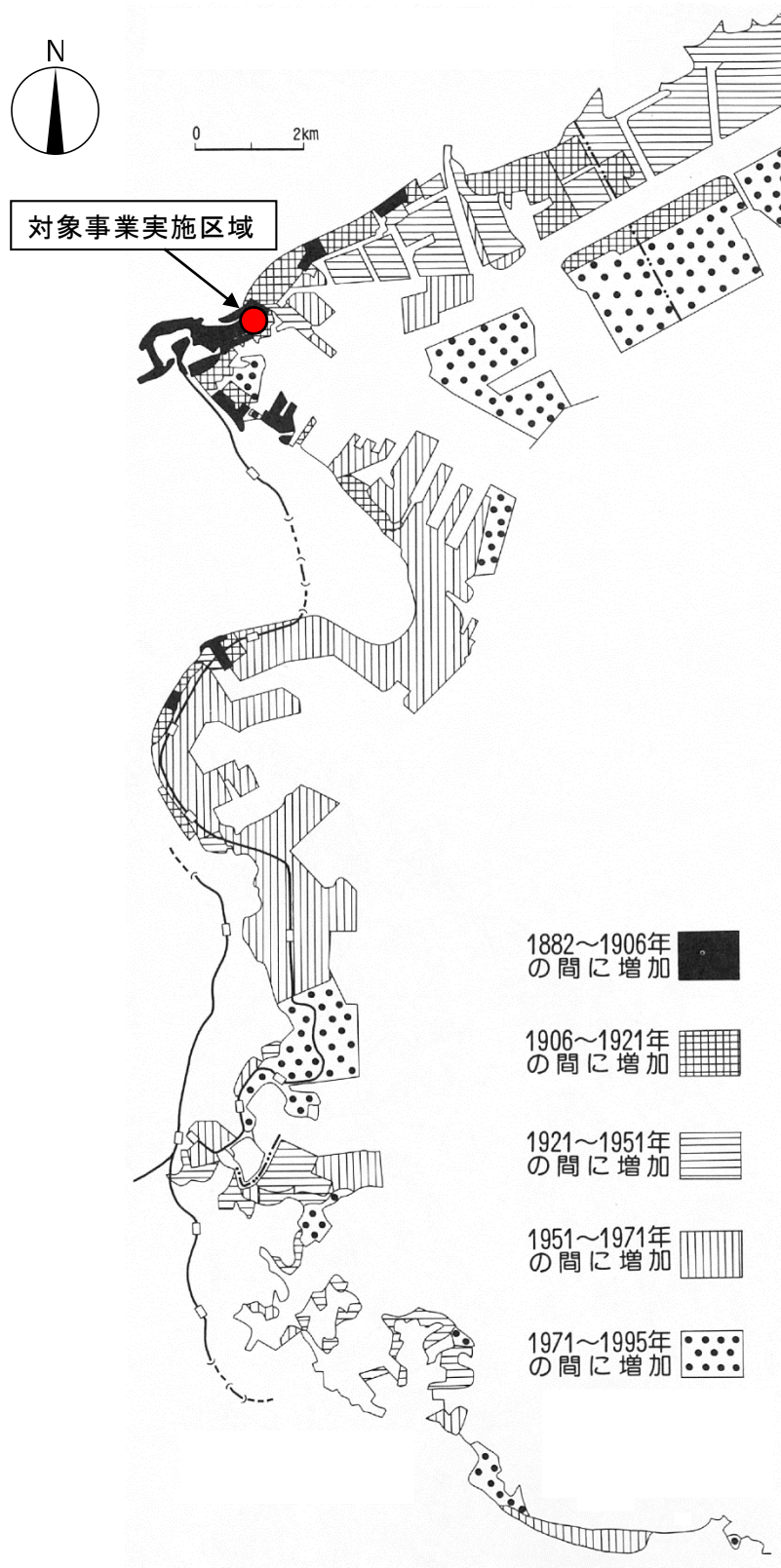
		傾斜区分	
		0°~3°	3°~8°
低地の微高地	砂堆・砂州	St1	
	平坦地	h1	
人工地形	旧水面上の埋立地	Hm1	
	盛土地	m1	m2

資料：「土地分類基本調査（横浜・東京西南部・東京東南部・木更津）
 地形分類図」（国土交通省 土地・水資源局ホームページ、
 平成28年4月閲覧）



1:20,000

0 0.5 1km



資料：「地図で見る横浜の変遷」（財団法人日本地図センター、平成8年7月）

図 3.2-2 対象事業実施区域周辺（横浜港沿岸部）の埋立の変遷



凡 例

図 3.2-3 表層地質図

: 対象事業実施区域
 - - - : 区 界

F	埋 土			
Am	低湿地堆積物	未 固 結 堆 積 物	沖積層	完新世
As	自然堤防及び砂州堆積物			
TeL	立川ローム層・立川礫層		新 期 ローム	後 期 更新世
ML	武蔵野ローム層・武蔵野礫層			

SL	下末吉ローム層・下末吉層	半 固 結 堆 積 物	相模層 群	中・後期 更新世
SoL	早田ローム層、舞岡ローム層・鶴見層、舞岡層			
Kmm	柿生層		上総層 群	前 期 更新世
		沖積層の基底の等高度曲線		

資料：「土地分類基本調査（横浜・東京西南部・東京東南部・木更津）
 表層地質図」
 （国土交通省 土地・水資源局ホームページ、平成28年4月閲覧）



1:20,000

0 0.5 1km

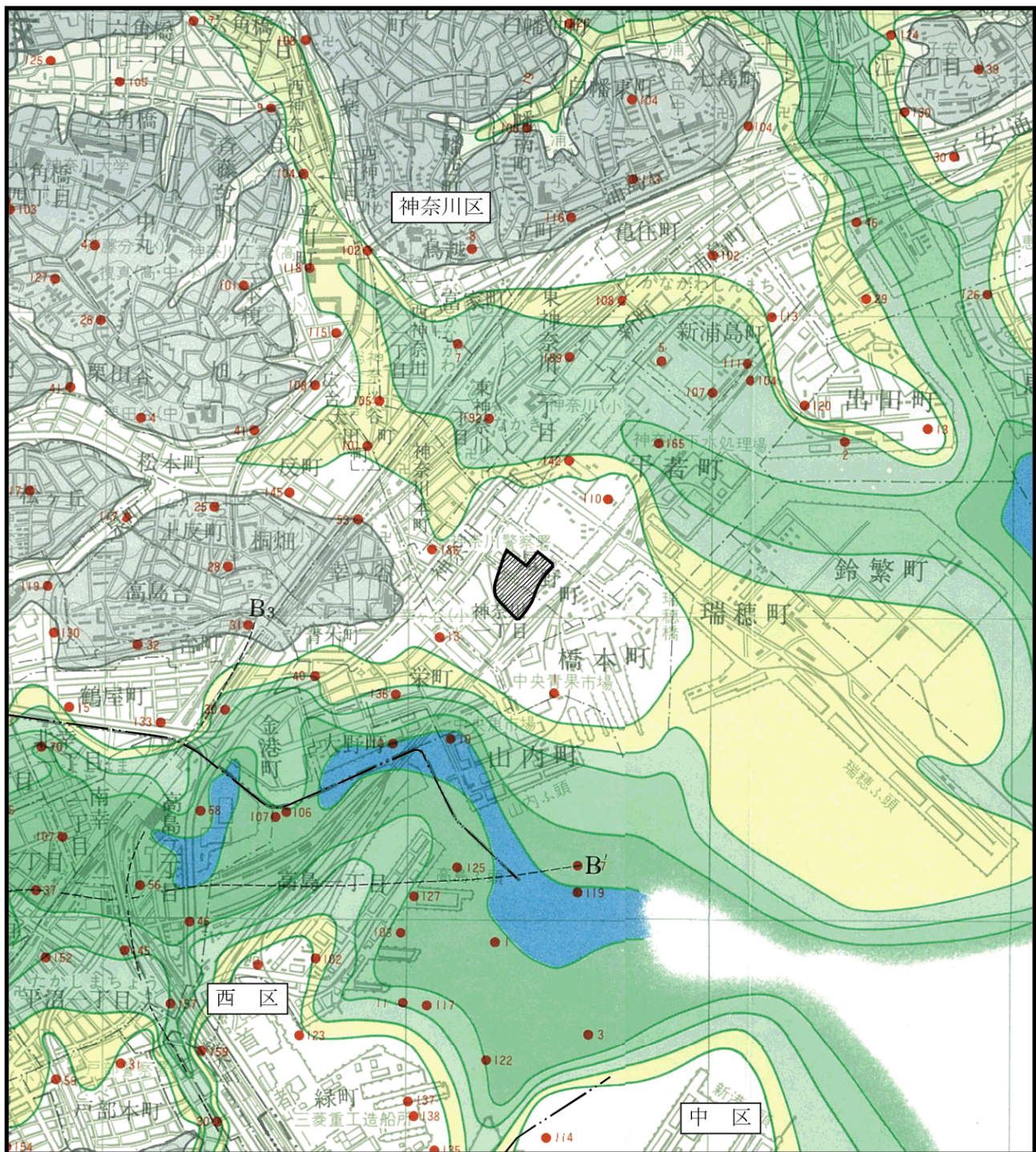
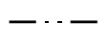


図 3.2-4 軟弱地盤分布図

凡 例



: 対象事業実施区域



: 区 界

軟弱地盤の層厚

0 ~ 5 m

40 ~ 50 m

5 ~ 10 m

50 ~ 60 m

10 ~ 20 m

● ボーリング地点

20 ~ 30 m

B-----B' 地質断面線

30 ~ 40 m



1:20,000

0 0.5 1km

資料:「横浜市地盤図集」(横浜市、平成8年3月)